

武知洋太研究員が「寒地技術賞（計画部門）」を受賞

雪氷チーム

平成29年11月30日～12月1日に札幌コンベンションセンターにおいて「第33回寒地技術シンポジウム」が開催されました。当該シンポジウムでは、「雪と寒さ」の課題と可能性をテーマに毎年、全国各地から集まった研究者や技術者により研究発表が行われています。

シンポジウム初日には開会式と寒地技術賞の授与式が行われ、雪氷チームの武知研究員に寒地技術賞（計画部門）が授与されました。

寒地技術賞は、前回（平成28年度）の第32回寒地技術シンポジウムにおいて発表された研究論文の中より選考され表彰されるものです。

寒地土木研究所 雪氷チーム 國分 徹哉

寒地土木研究所 雪氷チーム 原田 裕介

（所属は論文発表時）

本論文は、吹雪時の視程障害の発生を予測し情報提供を行っているシステム「吹雪の視界情報」（図-1）に用いている吹雪視程推定手法の推定精度について、北海道内4箇所にて観測した気象データを用い検証したものです。さらに視程の推定精度と地吹雪や雨雪現象の判別結果との関連性を分析し、視程推定の精度向上に向け検討を行ったものです。



写真-1 受賞した武知研究員

受賞対象になった論文は次の通りで、寒地技術の向上に著しく寄与するものと評価され寒地技術賞（計画部門）に選考されました。

【論文名】

「吹雪の視界情報」における吹雪視程推定手法について

【著者】

寒地土木研究所 雪氷チーム 武知 洋太

寒地土木研究所 雪氷チーム 松澤 勝

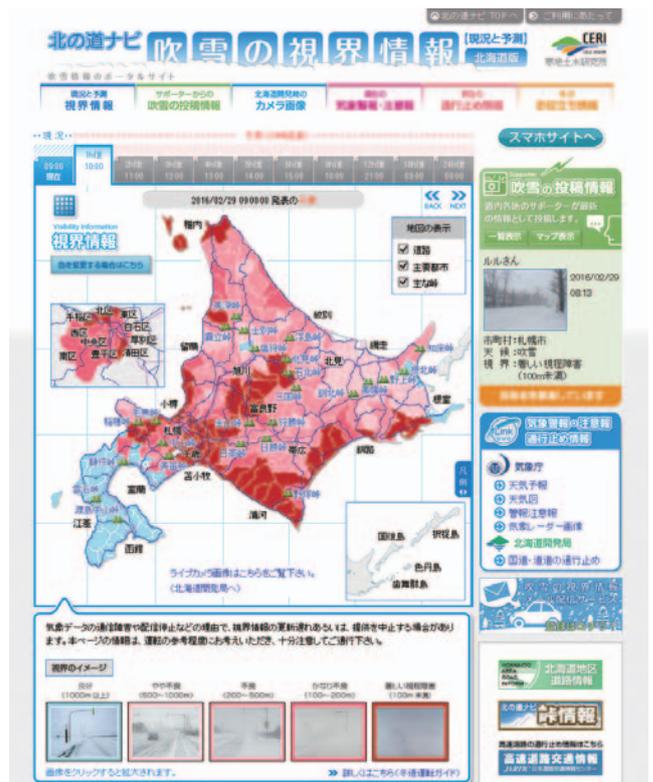


図-1 「吹雪の視界情報」のパソコン版提供サイト
(URL : <http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>)

（文責：西村 敦史）